

来月、ハワイで日米親善野球

# 決戦へ準備万端

おじいちゃん日本代表、準備万端。太平洋戦争で戦った日米元兵士たちがハワイで行う野球の親善試合を前に、日本メンバーが十五日、高松市鬼無町の市西部運動センターで公開練習を行った。おじいちゃん選手た

松市の姉妹都市の米国セント・ピーターズバーグ市に拠点を置く七十五歳以上のシニアチームで、太平洋戦争の従軍経験者が銃をクラブやバットに持ち替え、再戦する。日本からは、全国各地のシニアソフトボール部と

ノックを受ける日本メンバー。中央が県勢の松本さん。高松市鬼無町、市西部運動センター

## 74-85歳の日本メンバー 高松で公開練習

ちは久しぶりのプレーを満喫しながら、宮崎県で合宿中の「星野JAPANN」に負けじと闘志を高め、来月に迫った決戦に備えた。

から公募した八十五七の試合形式の練習などをみっちりこなした。メンバーは十二月十七日に日本を出発。十八、十九日に試合を行う。松本さんは「けがをしないように気を付けながら、

親善試合は、東京のNPO法人グローバルキャンパス（大社充理事長）が企画。対戦相手は、高自己紹介を兼ねたミーティング。

この日が日本メンバーの初顔合わせで、練習は深めたい」と意気込んで

